

【装置紹介】 プロテインシーケンサー ～ タンパク質の N 末端アミノ酸配列解析 ～

概要

プロテインシーケンサーは、エドマン分解法によりタンパク質やペプチドの N 末端からアミノ酸を 1 残基ずつ切り出して HPLC 分析し、アミノ酸配列を決定することが可能です。測定可能なアミノ酸は、タンパク質を構成する 20 種類のアミノ酸です。

分析装置

機種 : PPSQ-53A イソクラティックシステム (島津製作所) (図 1)

解析可能残基数 : 5～30 残基(分析試料により異なります)

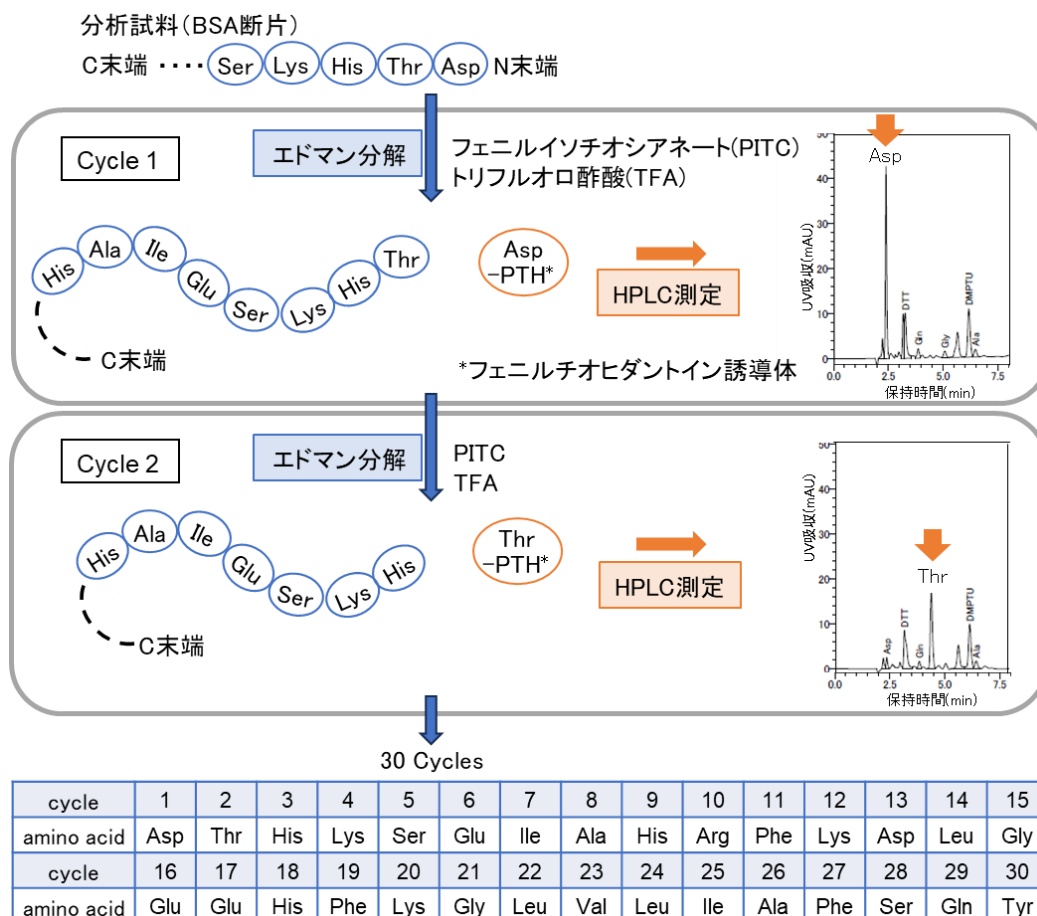


【図 1】装置外観

分析事例

ウシ血清アルブミン(BSA)の分析を実施し、N 末端のアミノ酸 30 残基の正しい配列が確認されました(図 2)。

プロテインシーケンサーにより、配列未知のタンパク質やペプチド、組換えタンパク質の N 末端アミノ酸配列情報が得られます。



【図 2】BSA の N 末端アミノ酸配列解析

適用分野 : タンパク質、ペプチド

キーワード : アミノ酸配列、プロテインシーケンサー、エドマン分解